



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 6 号
令和 2年 6月 1日

学校からチャイムが聞こえる…

校長 古市 直彦

3ヶ月前までは当たり前だった光景が、久々に戻ってきました。

5月25日から始まった任意の分散登校では、各クラスを二分割して、午前・午後にそれぞれ3時間ずつの学習相談・生活相談。健康観察等を行いました。その際に鳴らした「チャイム」がなんと懐かしかったことか…。「休み時間」があったのも久しぶりでした。「密」になりすぎないように考えながら、友達と「休み時間」を楽しんでいる様子は、3ヶ月前と全く同じとは言えない「学校の新しい日常生活の様式」にも見えました。



いよいよ本日から、全員の分散登校が始まります。各クラスを2分割している点は変わりませんが、前週が各学年が週2日間の登校だったのに対し、今週は、全学年が毎日の登校になります。

ここで、心配されるのは「密」です。

来週の通常登校が始まると。最も多いクラスで、40人がひとつの教室で生活や学習を進めていくことになります。できるだけ前後左右の間隔をとるようにしますが、教室の広さには限りがあり、一般的に言われているソーシャルディスタンスの1～2mを確保するのは難しい現状です。クラスを分けて授業する事も検討しましたが、教室の数にも限りがありますし、授業を担当する職員数も2倍必要になることから、実施することはできません。

また、教師が授業をする際の飛沫の飛散を少しでも防ぐために、アクリル板等を活用したクリアパーティションや、コンビニ等で見かけることも多くなった透明ビニールを使ったカーテン等の設置も検討しましたが、教室の広さや、黒板の見えにくさ、予算不足や入手の困難性等を考えると実現は難しい状況です。そこで、とりあえず授業の際に飛沫の飛散する可能性がある場面では、教師はマスクをつけた上で、できるだけ「フェイスシールド」も着用することにしました。市販されている素材を使って自作したのですが、それなりの効果があると思われます。事前にPTA役員の方に見ていただきましたが、「このような物を使っていただくと安心する」というお言葉をいただくこともできました。

更に、生徒の皆さんが学習を進める際にも、英語のコミュニケーション活動や理科の実験等、「密」にならざるを得ない場面があります。できるだけ、これらの活動場面は少なくしながら学習を進めていく予定ですが、どうしても必要な場面があります。その際には、生徒の皆さんにも簡易なものではありますが、職員自作の「フェイスシールド」を使ってもらう予定です。



教師用フェイスシールド 生徒用簡易フェイスシールド

より良い物が見つかりましたら、導入を検討していきたいと思いますが、もし、ご家庭で「フェイスシールド」を用意される場合は、それを学校で使っていただいても構いません。これからの時期は、暑さから熱中症になってしまう心配もありますし、活動する途中でシールドが曇ってしまう等の課題もありますので、使い方に關しましても、臨機応変に対応して参りたいと思っています。

生徒の皆さんへ

本校生徒会長（3年1組）に、「学校再開に際し、全校生徒の皆さんに対して、少しでもメッセージをもらえないか…」とお願いしてみたところ、次のような熱いメッセージを寄せてくれました。「適当にカットしてもらって構わないです」とのことでしたが、全文を紹介します。

おそらく皆さんは、新型コロナウイルスが中国で確認されたというニュースを初めて見た頃、「多分、大丈夫だろう」と思っていたと思います。

そのため、緊急事態宣言が出された時には、大きな驚きや不安を感じたと思います。1年生の皆さんは入学式について、2年生の皆さんは勉強について、3年生の皆さんは受験について、それぞれ不安を抱えていたと思います。

しかし今は、一人一人が感染防止の為に外出を自粛したり、ソーシャルディスタンスを守ったりと、努力していると思います。その甲斐あって、今は感染者が少しずつ減り、全都道府県で緊急事態宣言が解除されました。制限なども緩和されてきました。

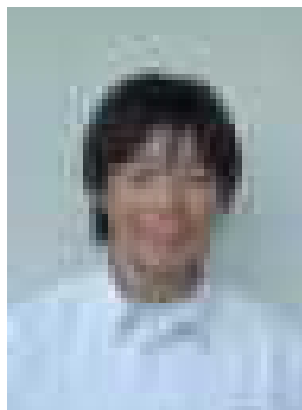
一時期は「9月入学」なども言われていましたが、無事に入学式が行えることになり、1年生の皆さんは、心配していたことが一つ解決したと思います。残念ながら2・3年生は参加できませんが、皆さんの入学を心から歓迎しています。

2年生の皆さんは、学校の再開が決まり、勉強に対する不安も少し和らいだと思います。

3年生の皆さんは、受験の時期に変更があるのかなどの心配がなくなり、勉強に打ち込めるようになったと思います。

しかし、コロナウイルスはまだ終息したわけではありません。今は一応、混乱が収束しているだけであって、第2波が来るかもしれないと言われていたり、海外ではまだ感染者が増加傾向にある国もあります。そのため、今、安心して気を緩め、コロナウイルスが確認される前の生活に戻ってしまえば、今までの努力は全て水の泡になってしまいます。ニュースなどでは、今の感染予防の為に行われている生活がこれからは当たり前になるとも言われています。そのくらい、油断は禁物ということです。

それに伴い、学校生活の中でコロナウイルスは身近なものになるかもしれません。その為、「若松中だより」に書かれていたように、「ことばウイルス」というものが出てくる可能性があります。「ことばウイルス」が出る前に、生徒一人一人が友達を決して傷付けない、傷付けるような人がいない学校にしていきたいと思います。



3年生の皆さんは、中学校生活最後の部活動の時間をたくさん奪われてしまいました。今まで大会やコンクール等に向け、色々な事を我慢し、辛いときも力を振り絞り練習に打ち込んできたと思います。でも、今までの努力は絶対に無駄ではないと思うので、その経験を大切に、今後にかかしていきましょう。

委員会活動も終わってしまったわけではないので、1・2・3年生が協力して良くしていくことができると思います。

若松中学校の皆さんなら、休校に入る前よりも良い学校にできると思います。全員で協力して頑張りましょう。

（生徒会長 3年1組 _____）

「そうだよなあ」と、うなずきながら読んでくれた生徒の皆さんも多いのではないのでしょうか。

校報「若松中だより 第6号」をお届けします。ご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください。尚、学校行事等の予定に関しましては、まだ検討中です。来週発行予定の「若松中だより 第7号」ではお知らせできる予定です。

（ 千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125 ）

